

令和5年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

	視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価(月 日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1	教育課程 学習指導	<p>①自己肯定感を高める学習活動と教科等横断的な視点に立った資質・能力の育成を実現するための教育課程編成に取り組む。</p> <p>②「わかった・できた・つながった」を生徒が実感できる評価・授業の在り方の再整備を進める。</p>	<p>①ICT機器を活用しながら生徒が主体的に学習に取り組む態度を育む授業を展開する。</p> <p>②一人ひとりの自己肯定感を高める授業を検討し実践する。</p>	<p>①研修会や授業見学を通じてICT機器の効果的な活用や主体的に学習に向かう姿勢の見取り方について共有する。</p> <p>②他者と協働しながら理解を深め、「わかった・できた・つながった」を実感できる授業の実践を進め、共有する。</p>	<p>①職員が効果的なICT機器の活用を図り、学びに向かう力・姿勢の見取りについて、教職員の理解が深まったか。</p> <p>②生徒による授業評価の「わかった・できた・つながった」に関する回答が、すべての教科で90%以上「当てはまる」になったか。</p>					
2	生徒指導・支援	<p>①生徒の規範意識を定着させ、社会の一員としての自覚と自己有用感を涵養する。</p> <p>②「かかわる・寄り添う・見守る」教育支援体制により、生徒が自己の課題に気づき、その解決に向けて行動(相談)する力を育む。</p> <p>③学校行事や部活動等を通して、生徒の社会性を育み、豊かな人間関係を構築する力を育む。</p>	<p>①②豊かな社会性の育成を推進し、偏見・差別等の防止に向けた指導と課題解決に向け、チームで連携した取組を行う。</p> <p>③学校行事を通じて生徒が主体的、協働的に活動できるように環境を整える。部活動を通じて、生徒が自己肯定感を高め、学校の活性化を図る。</p>	<p>①多様な環境にある生徒を把握し、規範意識の醸成に向けて継続的な指導を進める。</p> <p>②SC・SSW・外部機関を活用した組織的な支援体制を構築する。</p> <p>③学校行事や部活動において、生徒が個々に役割を果たし、充実し満足感が得られる環境づくりを進める。</p>	<p>①各種講演会を実施し、生徒に継続的な指導ができたか。</p> <p>②相談体制の構築により不登校生徒が10%程度減少できたか。</p> <p>③生徒会執行部やフロンティアだけでなく、生徒全体が学校行事や運営に関わることができたか。部活動加入率が30%に達したか。</p>					
3	進路指導・支援	<p>○社会生活実践力を育成し、主体的に進路設計ができる力を身につけさせる。</p>	<p>①自己理解を深め、他者への理解も深めることを通して、生徒が自己の役割や責任を認識し、社会とつながり生きる力を身につけるための支援を行う。</p> <p>②生徒が主体的に将来を考え、個々の関心や能力、適性に応じた進路を実現するための支援を行う。</p>	<p>①「総合的な探究の時間」を中心とした学習活動や様々な体験活動を通して、社会や働くことの意味などに対する理解を深めさせる。</p> <p>②生徒一人ひとりの進路実現のために、個別面談やガイダンス等とおして適切な情報を提供する。</p>	<p>①各年次において「総合的な探究の時間」を中心としたキャリア教育プログラムを計画的に実施することができたか。進路未定者が減少したか。</p> <p>②生徒のニーズに合った情報提供を、適切な時期に行うことができたか。</p>					

	視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価(月 日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
4	地域等との協働	<p>①地域や外部の諸機関等との連携を図り、地域とともに学びあう教育活動・学校運営を行う。</p> <p>②教科指導等における連携・協働を積極的に推進し、生徒の成長の見守りと学校に対する理解と信頼を深める。</p>	<p>①地域や外部機関と連携した教育活動の拡充を図る。</p> <p>②HPを通じて本校の教育活動を紹介し、学校に対する信頼を深める。</p>	<p>①ボランティア活動、外部と連携した進路ガイダンス等を実施する。</p> <p>②地域清掃や地域と連携した活動等を実施するとともに活動についてHPで紹介し、学校に対する理解を得る。</p>	<p>①地域や外部との連携による教育活動を実施し、生徒が参加する機会を増やすことができたか。</p> <p>②教育活動により本校について地域の方に理解を得られたか。HPのリニューアルが図られたか。</p>					
5	学校管理 学校運営	<p>①生徒の安全と教育環境を確保し、耐震工事への対応と新校舎の効果的な使用方法を策定する。</p> <p>②地域と協働した防災体制づくりと防災教育を推進する。</p> <p>③事故不祥事防止を推進し、学校に対する信頼を深める。</p> <p>④教員のワークライフバランスを推進するとともに生徒と向き合う時間を確保するため組織的な学校運営と校務の効率化を図る。</p>	<p>①グラウンド改修および体育館周辺工事を安全に進め、生徒の活動場所を確保する。</p> <p>②実践的な防災研修を実施する。</p> <p>③計画的に事故不祥事防止研修を実施する。</p> <p>④ICTを活用した情報共有を進め、作業効率をより一層高める。</p>	<p>①工事を安全に終了させ、その後の環境整備を行う。生徒のICT活動が充実するよう、機器の充実と活用の支援を行う。</p> <p>②防災備蓄品の管理と防災備品の正しい活用について研修を行う。</p> <p>③ヒヤリハットの情報を集め、未然に防ぐために共有や管理を行う。初任者研修において事故・不祥事防止に向けた研修を実施する。</p> <p>④授業や会議で使用するPC機器を充実させる。Teamsの一層の有効活用を図る。</p>	<p>①環境整備を充実させることができたか。一人一台端末の支援ができたか。教場の有効的な活用を支援できたか。</p> <p>②実践的な防災訓練や研修を行うことができたか。</p> <p>③ヒヤリハットを共有し、未然に事故を防ぐことができたか。</p> <p>④職員室のPCなどの機器を含め環境を整えることができたか。打ち合わせ等の簡略化を進めることができたか。</p>					